製品安全ニュース

vol. 22

今月のトピックス

介護ベッド用手すりのすき間に身体の一部を挟み込む等の重大な事故が発生しています。

介護ベッド用手すりは、製品の性質上、身体に関わる全ての挟み込みリスクをゼロにすることは困難な状況です。利用者及び利用者を介護する方は、取扱説明書等に記載されている注意事項をもう一度確認して、挟み込みのリスクを認識し、正しく使用してください。

また、製造事業者は、すき間を埋めるための部品を配布しています。すき間に頭部などが入り込むおそれのある製品を使用している場合は速やかに製造事業者に連絡し、簡易部品を入手した上で、必ず取り付けて使用してください。その他、製品の使用に際して、不具合や不安等がある場合には、製造事業者又は販売事業者等に相談してください。

※ 平成21年3月に介護ベッドの日本工業規格（JIS）が改正され、頭部や首の挟み込み事故を防ぐためのすき間の基準強化が図られています。

※ 「日本福祉用具・生活支援用具協会」及び「医療・介護ベッド安全普及協議会」において、介護ベッド用手すり等による事故等についての注意喚起及び安全使用の情報の普及を、チラシやホームページ等を使用して実施しています。

◇ 平成22年9月の重大製品事故公表情報（消費者庁）

〔単位：件〕

ガス機器・石油機器に関する事故	ガス機器・石油機器以外の製品に関する製品起因が疑われる事故						
		エアコン	自転車用幼児座席	扇風機	エアコン（室外機）	その他	その他の主な製品の内訳
18	28	5	3	3	3	14	・電気こんろ　・空気清浄機 ・扇風機　・除湿機 ・ノートパソコン　・木製椅子 ・携帯型音楽プレーヤー　・モップ ・折りたたみ自転車（小径車） ・食器洗い乾燥機（ビルトイン式）

※ 詳細な情報は、消費者庁のホームページをご覧ください。
（http://www.caa.go.jp/safety/index.html）

「子どもを事故から守る！プロジェクト」について

消費者庁では、子どもを不慮の事故から守るため、「予防」の観点に立った「子どもを事故から守る！プロジェクト」を実施しています。年齢ごとに起こりやすい事故やその対処法の紹介のほか、登録をすれば、事故予防に役立つ情報を届けてくれるメール配信サービス（子ども安全メールfrom消費者庁）も行っています。

子どもの事故は、ちょっとした大人の工夫で防げますので、是非ご活用ください。

○携帯サイト　→　http://www.caa.go.jp/m/
○パソコン用ホームページ　→　http://www.caa.go.jp/kodomo/
○「子ども安全メールfrom消費者庁」（原則毎週木曜日に発行）
　登録はこちら　→　http://www.caa.go.jp/m/（携帯電話用）
　http://www.caa.go.jp/kodomo/mail/（パソコン用）

消費者庁携帯サイトQRコード

【発 行】 長野県 企画部 消費生活室
電話：026－223－6770
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/seikatsu/jyouhou/index.htm

保存版

介護ベッド ここが危ない!!

あなたの介護ベッドに危険なすき間が潜んでいる?

ご注意!

誤使用や想定外の使い方により介護ベッドの事故が増加しています。

今すぐ確認と対策を!

発　行

医療・介護ベッド安全普及協議会

介護ベッドまわりの事故の現状

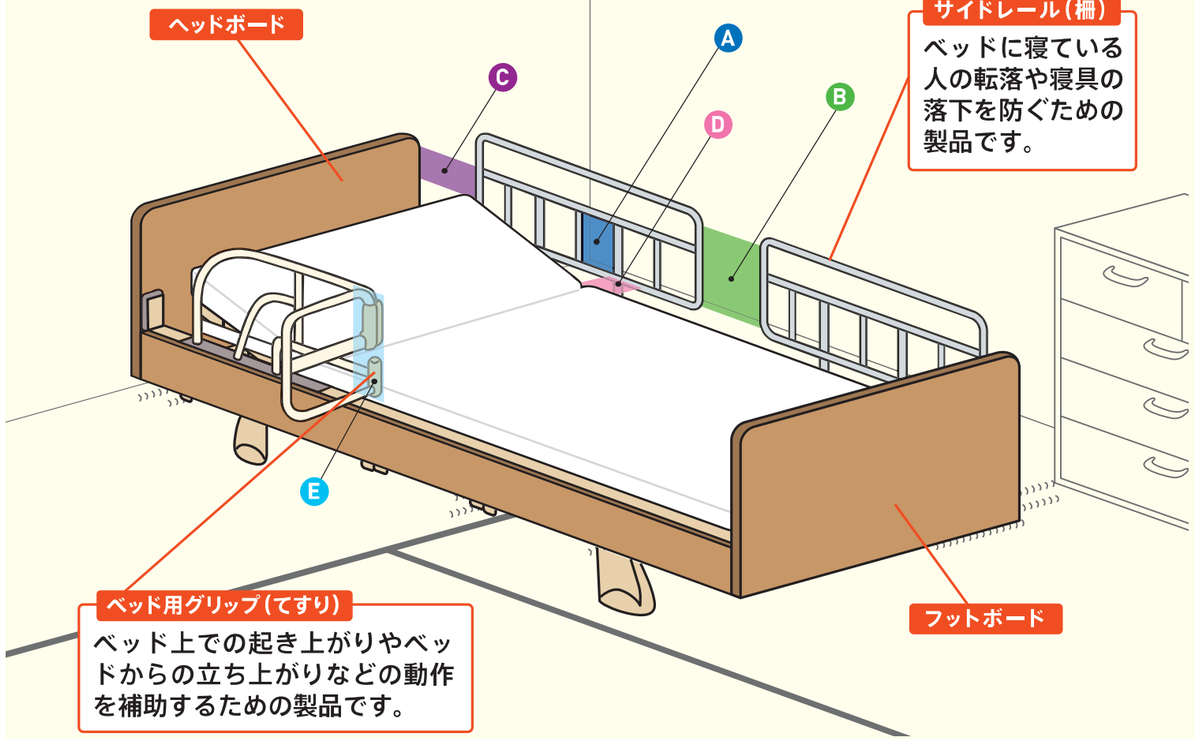
ここが危ない!

近年、介護ベッド関連の死亡・重傷事故が増えています。事故の多くは危険な部分があるかどうかの確認と正しい使い方によって未然に防ぐことができます。

サイドレール関連 36件

- A サイドレール内のすき間
- B サイドレールとサイドレールのすき間
- C サイドレールとボードのすき間
- D サイドレールとマットのすき間
- E ベッド用グリップの固定レバー

など



■2007 年 5 月 14 日～ 2010 年 8 月 31 日集計
消費生活用製品安全法に基づく重大事故として報告されたもの
※重大事故：死亡、負傷または疾病であってこれらの治療に要する期間が 30 日以上等

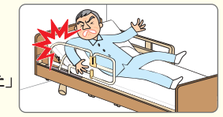
■経済産業省による調査の結果、36 件中 22 件が「製品に起因しない事故」と判断されています。

こんな事故が起きています

サイドレール・ベッド用グリップのすき間の事故

15件 サイドレールの中に頭、腕や足が入り重傷・死亡した。

■頭・首が入った
■腕が入った　■足が入った
■挟んだ状態で「起き上がろうとした」「体をねじった」

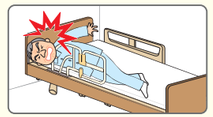


5件 サイドレールとサイドレールのすき間に首がはさまり重傷・死亡した。

■ベッドとサイドレールのメーカーが違う
■サイドレールとベッド（マットレス）のすき間

4件 サイドレールとボードのすき間に首がはさまり重傷・死亡した。

■ベッド用グリップを逆に取り付けていた。



3件 サイドレールとマットやベッドフレームの間にはさまり重傷をおった。

■90cm幅対応のベッドに83cm幅のマットを使用していた
■ベッドとサイドレールのメーカーが違う

ベッド用グリップの固定ノブ・レバー関連事故

3件 着衣がベッド用グリップの固定レバーにひっかかり窒息により死亡。

3件 首振りの固定レバーが外れ、転倒・骨折した。

■固定されておらず首振り部が急に動き、転倒・骨折した。

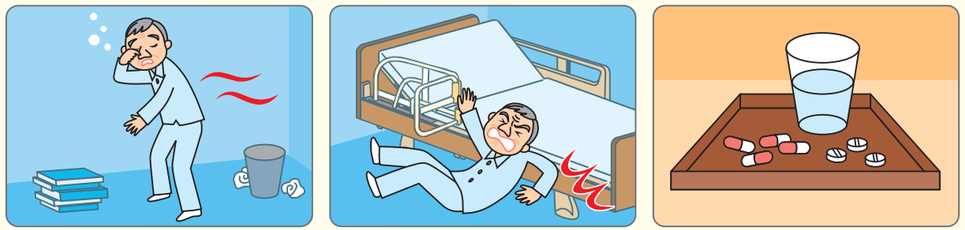
3件 その他

その他介護ベッドの事故

13件 ベッド本体と他の物とのすき間にはさまれた事故、ベッドのフレーム内にはさまれた事故。

事故多発時間帯　夜10時～朝8時

事故の多くは夜から朝に起きています。



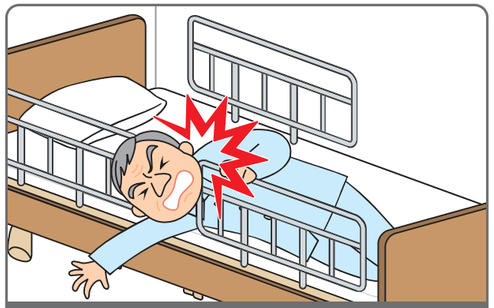
身体や意識がはっきりしていない時間帯にトイレに行こうとして、ベッドからの転落や移動中の転倒事故が多発しています。特に睡眠薬を服用している場合は身体状況が不安定になり転倒しやすくなります。(医師の指導を守って下さい)

あなたの注意で事故は未然に防げます。チェックリストで確認を!!

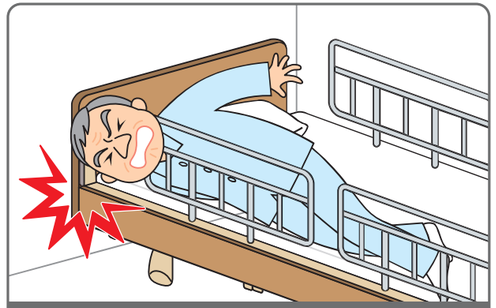
すき間 ☑ チェック①!

認知機能障害など予測できない行動をとる方や片マヒなどの障がいがある方は、特にサイドレールのすき間などに注意して下さい。

すき間に首が入り込む事故が多発しています。

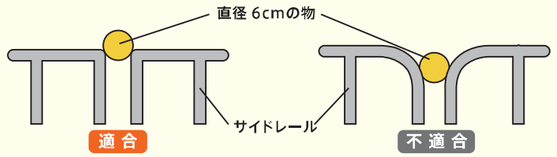


サイドレールとサイドレールのすき間



ボードとサイドレールのすき間

介護ベッドのJIS規格では、図のようにサイドレールとサイドレールのすき間に直径6cmの硬い円柱状の器具が入らないこととされています。

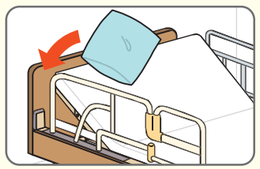


確認してみよう 安全確認スケールを当てて、直径 6cmの物が入りそうなすき間がないか確認しましょう。

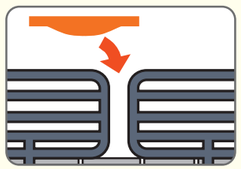
すき間があるときの解決策

■ヘッドボードとサイドレールのすき間をクッションなどを入れてうめましょう。

■スペーサーなどによりサイドレールとサイドレールの間にはさまらないようにしましょう。
※メーカーにより対応が異なります。詳しくはメーカーにご確認下さい



クッションなど



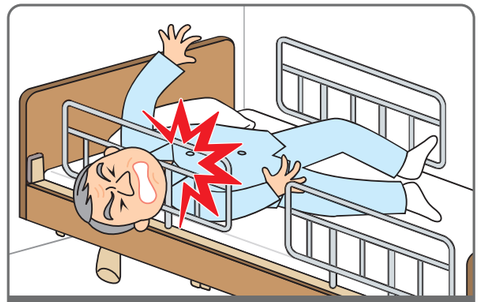
スペーサー

■危険なすき間がないサイドレールに交換しましょう。

安全確認スケール すき間確認にご利用ください。

12cm以上のすき間があると・・・・

サイドレールの中に頭が入り、窒息事故が発生しています。



サイドレール内のすき間

確認してみよう

安全確認スケールを当てて、直径12cmの硬い物が入るすき間がないか計測しましょう。

すき間があるときの解決策

サイドレールカバー

ベッド用グリップカバー

をご利用ください。

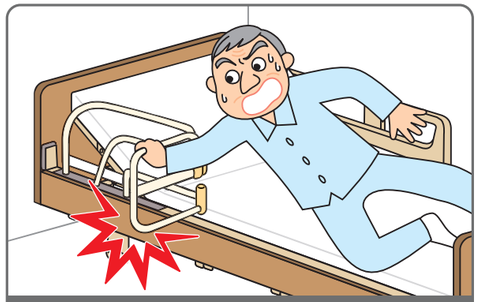
※メーカーにより対応が異なります。詳しくはメーカーにご確認下さい

固 定 ☑ チェック②!

ベッド用グリップの固定を確認していますか?

しっかり固定していないと・・・・

立ち上がるときに転倒し骨折する原因になります。



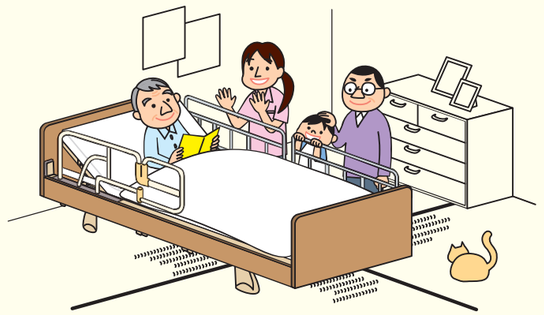
未固定による転倒・骨折

実際にやってみよう!

首振り機構の固定、ベッドへの固定は確実ですか?

その他 ☑ チェック③!

●取扱説明書をよく読んで正しく使いましょう。



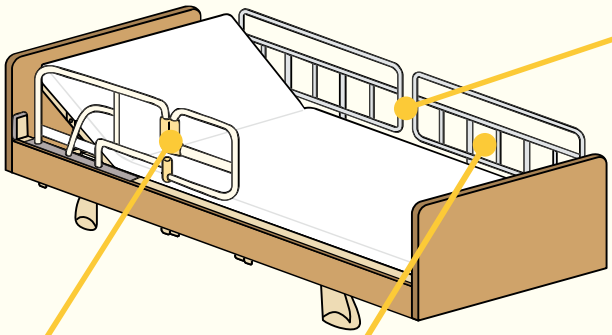
最新のベッドはどうなっているの？

JIS T9254:2009

【JISマーク表示例】

2009年3月に介護ベッドのJIS規格が改定され、サイドレールとサイドレールのすき間だけでなく、安全に関わる数十項目が厳しく規定されました。

代表例（JIS規格文を要約しています）



衣服が絡みつくような形状でないこと。

サイドレールとサイドレール、サイドレールとボードのすき間は直径6cmの物が入り込まないこと、もしくは23.5cm以上であること。

注１：詳しくは本パンフレット中面のチェック①をご覧下さい。

ベッド用グリップの開閉テストで1万回をクリアすること。

サイドレール内の空間は直径12cmの物が通らないこと。

ベッドとサイドレール、ベッド用グリップの適合する組み合わせを明確にすること。

最新のJISマーク付きのベッドでは事故は起きないの？

JISマーク付きの製品は、その製品が一定の品質や性能を確保していることを証明するものですが、使い方を誤ると重傷や死亡に至る事故は発生します。取扱説明書をよく読んで正しくお使い下さい。

医療・介護ベッド安全普及協議会とは

医療介護ベッドのメーカーにより2002年12月に設立されました。ベッドを安心して使用して頂くためのハンドブックやマニュアルを作成し、ホームページに掲載しております。

最新情報はこちらからご確認下さい

【ホームページ】 http://www.bed-anzen.org

【お問い合わせ先】 03-3648-5510

■ 協議会会員名簿（あいうえお順）

協議会会員名	お問い合わせ先	ホームページ
シーホネンス株式会社	0120-20-1001	http://www.seahonence.co.jp/
パラマウントベッド株式会社	0120-36-4803	http://www.paramount.co.jp/
株式会社プラッツ	0120-77-3433	http://www.platz-ltd.co.jp/
フランスベッド株式会社	0120-39-2824	http://www.francebed.co.jp/
株式会社モルテン	03-3625-8510	http://www.molten.co.jp/health
株式会社ランダルコーポレーション	048-475-3662	http://www.lundal.co.jp

お使いのベッドのお問い合わせは各メーカーへ！

発行年月 2010.09.24